

■取扱の記載

- ① パブリックコメントにより、新たに計画書に反映
- ② ご意見の主旨が、既に計画書本編に含まれているもの
- ③ ご意見の主旨の一部が、既に計画書本編に含まれているもの
- ④ 今後の施策検討の参考とするもの

1 地域のつながりづくりについて

意見等の概要	市の考え方、対応等	取扱
<p>近隣住民間の関わりについての話は行政指導では難しい。 わずらわしさを感じる人もいるため、遠くで見守るのも大切。</p>	<p>地域のつながりは、災害時の助け合いや、高齢者・子ども等の見守りなどにおいて大変重要なものと考えています。今後も、安心し支え合う地域のつながりづくりに努めてまいります。</p>	⑤
<p>地域共生社会を実現するためのベースである町内会を抜きにした個人対行政の関係ではうまく回らない。町内会は大切である。</p> <p>町内会無しの共生社会は考えづらい。 町内会に加入せずとも市報配布やゴミ出しは出来るが、町内会離脱を防ぐ方向に、施策を変えてほしい。</p>	<p>町内会を始めとする地域のつながりは、災害時の助け合いや、高齢者・子ども等の見守りなどにおいて大変重要と考えます。 引き続き、コミュニティと連携しながら、町内会に対する支援に努めるとともに、地域のつながりづくりを推進してまいります。</p>	⑤
<p>地域に多くあるアパート住民とつながりを持てる仕組みづくりをしたいが、コミュニティだけでは難しい。</p>	<p>アパートは居住者の入れ替わりがあるなどの理由から、コミュニティ活動を十分に周知できないこともあると認識しています。 引き続き、コミュニティと連携した事業を展開するとともに、市報、ホームページ、SNSなど様々な媒体を通して、コミュニティ活動に対する理解促進を図ってまいります。</p>	⑤

2 地域子ども食堂について

意見等の概要	市の考え方、対応等	取扱
<p>運営支援は難しい取組である。本当に支援が必要な子どもが参加できているか、運営側の負担が大きくないか疑問である。 子ども以外に高齢世帯にも声を掛けるとよい。 最低限の自己負担を求めた方が参加しやすい。現在の実施状況を知りたい。</p> <p>運営支援は課題が多すぎる。 資金面、人材面とも行政の援助が必要。</p>	<p>運営については、今後も、孤食や貧困を抱える子どもに寄り添いながら、子どもから高齢者までが交流する機会づくりとして、事業が持続できるよう実施団体の支援に努めてまいります。 また、運営側の負担等についても運営団体の意見等を踏まえた上で、事業内容など情報発信に努めてまいります。</p>	②

### 3 おもちゃライブラリー事業について

意見等の概要	市の考え方、対応等	取扱
利用者が減少する中で事業を継続するために、名称を変えて地域住民（幼児～高齢者）の交流の場にしてはどうか。	地域とのふれあいと交流の場に位置付け、事業に取り組むこととしており、今後も、地域のつながりづくりに努めてまいります。	④

### 4 情報の共有、発信について

意見等の概要	市の考え方、対応等	取扱
8050問題は、市で管理する住民基本台帳で分かるのではないかと。行政の中で情報共有することも重要である。	各課題解決に向けては、市が把握している様々な情報を有効に活用するなど効率的に取り組むよう努めてまいります。	⑤
取り組むべき課題が、事業の中にもどのように組み込まれているか分かるようにすることが大切である。	各事業の推進に当たっては、抱える課題を含め丁寧な情報発信に努めてまいります。	⑤
拡充と重点事業の内容は、地域や市民に考え方が分かるよう情報発信する必要がある。	効果的な情報発信に取り組むこととしており、今後も、市民にとってより分かりやすい情報の提供に努めてまいります。	④

### 5 市社会福祉協議会の広報について

意見等の概要	市の考え方、対応等	取扱
活動・事業内容の広報は、広報誌等によるPRも大切だが、直接説明の機会をつくってはどうか。交流センターや学区内を巡回するのもよい。	効果的な情報発信に取り組むこととしており、今後も、市民にとってより分かりやすい情報の提供に努めてまいります。	③

### 6 相談支援の充実について

意見等の概要	市の考え方、対応等	取扱
交流センターを定期巡回する相談窓口を作ってほしい。交流センターに相談日を設け、事前に学区広報紙で呼び掛ければ相談者が増えるのではないかと。	相談支援の充実に取り組むこととしており、今後も、包括的な相談窓口等の支援体制の充実を努めてまいります。	④

以上